



平成 29 年 3 月 29 日

各 位

会 社 名 ニッポン高度紙工業株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 山岡 俊則
(J A S D A Q ・ コ ー ド 3 8 9 1)
問 合 せ 先 執行役員経営企画室長 溝渕 泰司
TEL 088 (894) 2321

関係会社株式の減損処理（個別決算）および
のれんの減損損失（連結決算）による特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 3 月期（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）におきまして、当社が保有する関係会社株式の減損処理（個別決算）およびのれんの減損損失（連結決算）による特別損失を計上する見込みとなりましたのでお知らせいたします。

記

1. 関係会社株式の減損処理（個別決算）による特別損失の計上

当社は、平成 28 年 1 月に連結子会社化したフィリピンのパルプ製造会社 Albay Agro-Industrial Development Corporation（以下、ALD 社という）の業績が、買収時には想定されなかった原麻価格の上昇等により経営環境が著しく変化し、当初策定した計画を下回ったことから、同社株式の減損処理をおこない、関係会社株式評価損等を特別損失として平成 29 年 3 月期に概算 10 億円を計上する見込みとなりました。

なお、同社は、昨年 12 月の台風被害にともなう損害額等の金額が現時点で未確定となっておりますので、本件の特別損失は、概算の金額となっております。

また、個別決算で計上されるこの特別損失は、連結決算上相殺消去されますので、連結財務諸表に与える影響はございません。

2. のれんの減損損失（連結決算）による特別損失の計上

個別決算において、上記の関係会社株式評価損を計上することにもない、ALD 社に係るのれんの減損処理をおこない、特別損失として平成 29 年 3 月期に概算 5 億円を計上する見込みとなりました。

今般、当社におきまして、会計基準に従い減損損失を計上する見込みとなりましたが、当社グループとして、ALD 社は原料調達において重要な拠点であるため、今後は、収益基盤の改善に取り組み、業績の早期回復をはかってまいります。

3. 今後の見通し

本件による特別損失は、概算金額であるため確定次第速やかにお知らせいたします。また、平成 29 年 3 月期の通期業績予想につきましても現在精査中であり、他の要因を含め修正が必要と判断される場合は速やかにお知らせいたします。

以 上